



かさおか



暑中お見舞い
申し上げます

写真提供：笠岡市



29. 7. 13撮影

笠岡のまち「昔と今」

昭和30年代前半の西ノ浜踏切、山陽線と井笠鉄道の踏切が同じ場所にあり、その上、貨車の入れ替え作業で閉じられることが多く「開かずの踏切」とも呼ばれていましたが、昭和42年に跨線橋が完成したので踏切は撤去されました。それから50年が経った今年の6月、井笠ボーリングセンターが解体され、奇しくも元郵便局舎(現在は笠岡市役所第2分庁)が国道側から見通せる様になりました。

『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地
 電話：63-5949
 Fax：75-0101
 E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp
 開館日：月・水・金曜日の14時～17時まで



『笠岡地区まちづくり計画』とは・・・

笠岡地区まちづくり協議会では、地域の将来像を形創っていくために、中学生アンケートや大人アンケートの結果を分析しながら課題の抽出を行い、試みに29年度の新規検討事業として計画に掲げてみました。今後は、この計画が住民共通の認識に繋がると共に、一人ひとりが「ふるさと」に誇りと愛着を持ち、既存の地域活動を一層活発に育てながら、誰もが主役として“協働”を実感できる地域の実現をめざして行くために策定する計画です。



子ども見守り活動



海拔表示板の設置

こんな活動を
しています！



会報の発行



子ども新聞部の活動

笠岡地区まちづくり協議会のエリアは？

笠岡は、数百年の歴史をもつ寺の町であり、港町でもありました。昭和から平成にかけて、駅前土地区画整理事業などの開発が行われ中心市街地は中央町として大きく姿を変えて来ましたが、昔の名残はあちらこちらに見受けられます。

平成28年10月1日現在の地域の人口は6,457人、約2,800世帯が暮らしており、笠岡小学校区内の16の行政区域において各種団体が活動しています。

～ 防災の知識 その④ ～ 『9月1日は防災の日』

台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備するためとして、昭和35年(1960年)に内閣の閣議了解により制定されました。また、昭和57年(1982年)からは、9月1日の「防災の日」を含む1週間(8月30日から9月5日まで)が「防災週間」と定められています。

9月1日という日付は、大正12年(1923年)9月1日に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した『関東大震災』に由来しています。

近年、全国各地で発生する豪雨災害、私たちは「もしも」の時に我が身や家族を守りながら、地域全体で助け合って行かなければなりません。**みなさん 防災への心構えや備えは万全ですか？**

8月行事予定



- 8月5日(土)9:30～
第4回子ども新聞部の活動日です。
- 8月30日(水)18:30～
29年第7回総務部会を開催予定

【編集後記】

梅雨明け宣言を待たず連日の猛暑、気力と体力が鈍って何事にも集中できません。暑さもこれからが本番、ご自愛の程お祈りいたします。 I・M

『お知らせ』

7月1日付けで地域担当職員の異動がありました。

藤井裕江さんが退任し、新たに市民課勤務の辻田美穂さんが担当になりました。

黒田英樹さん・石井康夫さん・小阪展久さんは、引き続きしてお世話になります。

よろしく願いいたします。